

西川ゴム工業株式会社SDGs宣言

「ゴムタイムス」に小川社長インタビュー記事が掲載されました！

2024年1月16日付 ゴムタイムスに「nishikawa みどりの森」の活動についてご紹介いただきました。

## サステナビリティ活動強化 西川ゴム、森林保全活動推進

西川ゴム工業はサステナビリティ経営の「環境」として、23年8月に広島県と「グリーンボンド（環境債）」環境保全協定を締結し、広島県三原市にある中央森林公園の一角を「nishikawa みどりの森」と名づけて、森林保全活動を行っている。

グリーンボンドとは太陽光・風力発電をはじめとする再生可能エネルギー、環境、不動産といった環境改善に資する事業に資金用途を限定して発行する債券。今回は広島県が発行するグリーンボンドを購入した企業の内、3社が自然公園エリアへの命名権を得て、環境保全を行う。同社は広島県が保有する中央森林公園の一角を同社の管理地として、土地を整備しながら緑化していく。具体的な活動内容は、社員とその家族が間伐や除伐などの森を守る活動を行う一方、森林散策や間伐材を利用した工作体験なども企画する予定で、23年11月には小川秀樹社長率いる有志ら16名が同地の下草刈りを行った。

同社は前会長の西川一平氏が制定した社是「正道・和 独創 安全」を規範とする考え方が社員に深く根付いている。この考え方はCSRやESG、SDGsと親和性が高く、21年に策定した2025年中期経営計画ではサステナビリティ経営を通じ、競争力強化につなげる活動を推進中だ。

具体的には、22年3月に設立したESG推進委員会を中心としたESG推進体制の強化を始め、E分科会（環境対応部会）やS分科会（社会性向上部会）、G分科会（ガバナンス向上部会）における部門横断的な活動を進めている。

今回の広島県との協定では「S分科会のメンバーが中心となって頑張ってくれた」（小川社長）と語る。

なお、「nishikawa みどりの森」の今後については「当社社員だけではなく、地域住民の皆さまにもみどりの森を使っていたり、地域との共生を目指し、活動を進めていきたい」（小川社長）と力を込める。



森林活動（集合写真）

当記事はゴムタイムス様の利用承諾を得て、掲載させていただきます。